

## 原発からの撤退を求める署名

衆議院議長 殿  
参議院議長 殿

### 【請願主旨】

福島第一原子力発電所の事故は、原発の危険性を国民の前に事実をもって明らかにしました。

現在の原発の技術は本質的に未完成で、きわめて危険なものです。原発はばく大な放射性物質（死の灰）をかかえています、それをどんな事態がおきても閉じ込めておく完全な技術は存在しません。そして、ひとたび大量の放射性物質が放出されれば、被害は深刻かつ広範囲で、将来にわたっても影響を及ぼします。

そうした原発を、世界有数の地震・津波国であるわが国に、集中的に建設することは危険きわまりないことです。日本に立地している原発で、大地震・津波にみまわれる可能性がないと断言できるものは一つもありません。

歴代政府が、「安全神話」にしがみつき、繰り返しの警告を無視して安全対策をとらなかったことが、どんなに深刻な結果をもたらすかも明瞭となりました。

以上をふまえて、私たちは、原発からの撤退を要求します。

### 【請願項目】

一、日本政府が原発からの撤退を決断し、原発をゼロにする期限を決めたプログラムをつくることを求めます。

氏名	住所

【取り扱い団体】

**原発ゼロ署名にご協力下さい**

【お願い】 お手数ですが、この署名はお近くの日本共産党事務所やお知り合いの日本共産党員にお届けいただくか、日本共産党国会議員団近畿ブロック事務所へファクス（06-6764-9115）いただければ幸いです。

# 放射能汚染から 子と国民守れ

## 日本共産党が対策を提言

### 徹底した調査・除染・健康管理を



▲「提言」を発表する志位和夫委員長(左)と笠井亮衆院議員  
= 8月11日、国会内

放射能は減らせないが  
人間への影響は減らせる

福島原発事故により、大量・広範囲に放射性物質=「死の灰」が放出され、国民の不安が広がっています。特に放射能への感受性が高い子どもの健康を守ることは、日本社会の大問題です。放射線被ばくは、少量であっても健康被害が起きる危険があります。「これ以下なら安全」という基準はありません。放射能は減らすことはできませんが、人間への影響は減らせます。

日本共産党は、放射能汚染から子どもと国民を守るための「提言」を発表し、徹底した調査、迅速な除染、万全な健康管理を政府が本腰を入れて取り組むよう求めています。

**近畿民報**

発行/日本共産党国会議員団  
近畿ブロック事務所  
2011年8月号外

〒540-0004 大阪市中央区玉造2丁目  
15番7号USビル2F  
Tel.06(6764)9111 Fax.06(6764)9115  
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

日本共産党は以上の見解を発表しました。